

教育学部3年生向け 文献検索ガイダンス

2015年10月16日(金)
長崎大学附属図書館
(中央図書館)

「自由保育」について調べなさい。
という課題が出ました。

あるいは、

「自由保育」に関する論文を書くにあたって、
先行研究を調査することになりました。

まず、どのようにして調べますか？

2

ほとんどの人が、サーチエンジンを使って
ネットで検索するのではないでしょうか？



3

・・・その情報、信頼できますか？

誰が発信している情報？
検証はされている？
正しい情報？
憶測ではない？



4

本日の目的

学習や研究を行う上で必要な情報探索
の基礎的な知識と技能を身につける!!

- ・図書・雑誌の検索方法
- ・国内・海外文献の検索プロセス
- ・各種データベース
- ・参考文献の見方

などについて解説します。



大学のホームページから・・・



学部・大学院・附属施設をクリックします

6

スクロールして、
附属施設の中の**附属図書館**をクリック



7

附属図書館のホームページ



8

1. 図書・雑誌を探す



長崎大学図書館OPACをクリック

9

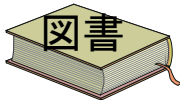
OPAC (オーパック)

長崎大学で所蔵している図書・雑誌を探す
→長崎大学図書館OPACで検索します。



10

図書と雑誌



1冊で完結

基本的な知識や
全体像を掴むのに有効



定期的に行刊
1冊に複数の論文

特定のテーマに関する
研究の成果のまとめ

↓
テーマに特化した内容。
最新の知見が得られる。

11

自由保育と入力して検索します



12

検索結果・・・3件



テーマに関する図書がヒットしました。

13

<詳細情報画面>



14

検索結果・・・3件



Q: 長崎大学には「自由保育」に関する図書が3冊しか無い？

A: そうではありません。書名や件名に「自由保育」という言葉が含まれる図書がなかっただけです。

15

OPACの特徴

図書の
タイトル

著者名
出版社名

図書の
内容

図書の内容は検索対象とならず、書名や著者名などにキーワードが含まれているものだけを検索します。

→キーワードが含まれていなければ、内容が合致していても、検索できません。

16

他の検索語を使って再検索してみる

「自由保育」の関連語、他のキーワードは？

- 自由遊び
- モンテッソーリ教育
- 自由 保育
- 選択性保育、自主選択性保育 など

書名に使われそうな用語を選べば、検索されやすいです。



適切な検索語を選んで、検索漏れを防ぎましょう！

17

モンテッソーリで検索してみましょう



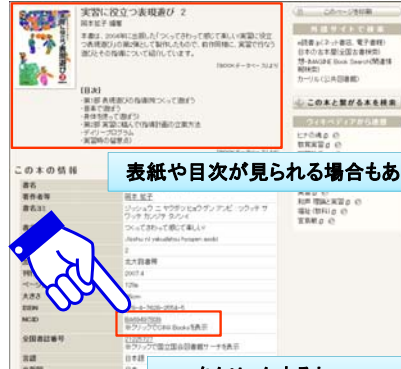
18

ごっこ遊びの指導方法 で検索してみましょう



タイトルをクリックすると、詳細情報画面が開きます。

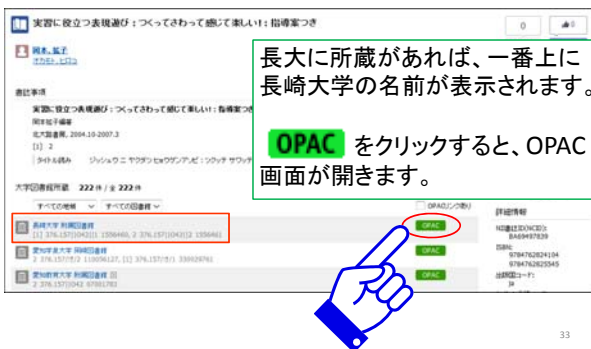
<詳細情報画面>



表紙や目次が見られる場合もあります。

NCIDをクリックするとCiNii Booksが開く。

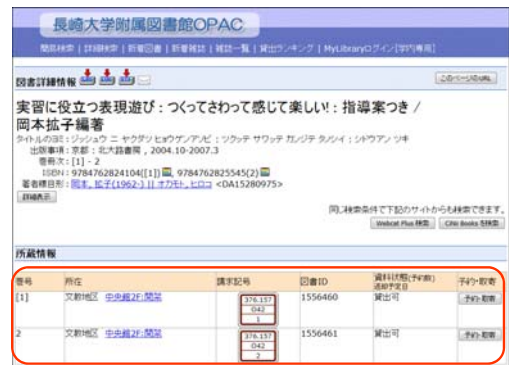
CiNii Books: 大学図書館の本をさがす



長大に所蔵があれば、一番上に長崎大学の名前が表示されます。

OPAC をクリックすると、OPAC画面が開きます。

OPAC ⇒ 所在を確認しましょう



電子ジャーナルも活用しましょう

電子ジャーナルとは？

＝雑誌論文を電子化し、Web上で見られるようにしたもの

- ・ 24時間利用ができる
- ・ 冊子体より早く読めることもある (Epub a head of print)
- ・ 行方不明、誰かが読んでいるといったこともない
- ・ 引用文献や参考文献への直接リンク

OPACや文献情報データベースからのリンク、または長崎大学で利用可能な電子ジャーナルをまとめた「電子ジャーナルナビゲーション+ (プラス)」というポータルサイトから利用してください。

電子ジャーナルナビゲーション+ プラス



<詳細情報画面>

論文のタイトル

著者名

この論文をアクセスする

3-STAGE Crossref

この様なバナーがある場合は、
本文を無料で読むことができます。
※一部有料のもの有り。

掲載誌情報

感情心理学研究
Journal of Research in Personality, 7, 2, 2013
JAPANESE SOCIETY FOR RESEARCH ON EMOTIONS

雑誌と同じ形で論文を読むことができます。
印刷することもできます。

本文が公開されていない場合は？

別の論文を見てみましょう。

本文リンクのバナーがない → 電子ジャーナルが利用できない

OPAC をクリックすると、OPAC画面が開きます。

該当巻号の所蔵の有無を確認しましょう

記事が掲載されている57巻は、中央館と
経済東南アジア研究所で所蔵しています。

所在	巻号	所蔵年次	電子記号	注記
文庫地区 中央館 雑誌庫	1-33, 38-40, 42-73	1978-2014		
片淵地区 経済東南アジア研究所	1-72+	1978-2014		

巻号情報の見方

所在	巻号	所蔵年次
文庫地区 中央館 雑誌庫	1-33, 38-40, 42-73	1978-2014
片淵地区 経済東南アジア研究所	1-72+	1978-2014

↓

1-33, 38-40	1巻～33巻、38巻～40巻は所蔵。 34巻～37巻は欠号。
42-73	42巻～73巻は、号も全て所蔵。
1-72+	現在は72巻まで到着。 +があれば継続受入予定。

所蔵年次で判断せずに、必ず巻号をチェックする

被引用回数が多い順に並び替わりました

Urban poverty and the family context of delinquency: a new look at structure and process in a classic study	Sampson, R. J., Laub, J. H.	1994	Child development	343
Parental Control Over Caregiving Outcomes: Implications for Child Development	Rugulies, D. B., Stue, J.	1989	Developmental Psychology	188
Exploring Uncertainty in Latent Class Membership: A Case Study in Criminology	Rosler, K., Lynch, K.G., Nagin, D.S.	1999	Journal of the American Statistical Association	164
The Emanuel Miller Memorial Lecture 2006: Abandon all intervention: Meta-analytic evidence for massive catch-up and plasticity in physical, socio-emotional, and cognitive development	van IJzendoorn, M. H., Juffer, T.	2006	Journal of Child Psychology and Psychiatry and Allied Disciplines	198
Maternal sensitivity and the security of infant-mother attachment: a 12-year study	Freiborn, D. R., Moran, G., Shaffer, C. J., Ghazizadeh, K., Axton, R.	1990	Child development	153
Mother-child interaction at age two years and perceived difficult temperament	Lee, C. L., Bates, J. E.	1985	Child development	147
Prevalence of social-emotional and behavioral problems in a 7-year community sample of 1- and 2-year-old children	Ingolds-Gowan, M. J., Carter, S. S., Sitton, E. M., Novak, S. S.	2001	Journal of the American Academy of Child and Adolescent Psychiatry	141

タイトルをクリックすると、詳細画面が開きます。

詳細画面 電子ジャーナルが利用可能かどうかは、このボタンをクリックしてチェックします。

The screenshot shows the Scopus interface for a specific article. A hand icon points to a button labeled '電子ジャーナルが利用可能かどうかは、このボタンをクリックしてチェックします。' (Check if the electronic journal is available by clicking this button). Other elements include the article title, author name (Sampson, R. J., Laub, J. H.), and a '掲載誌情報' (Journal Information) section with the journal title 'Child Development'.

Scopus収録文献の中で、この論文を引用している文献の情報が表示されます。この画面では最も新しい3件が表示されます。

長崎大学で契約している電子ジャーナルを確認

The screenshot shows the 'e-Journals Navigation' search results. A hand icon points to the 'EBSCOhost Academic Search Premier' link, which is circled in red. Below it, there are links for '長崎大学附属図書館 OPAC (蔵書検索システム)' and '文献全文'.

今回は、電子ジャーナルが利用可能なサイトが1つあります。コンテンツ名またはGOをクリックします。

出版社の該当論文ページにリンクします

The screenshot shows the publisher's page for the article. A hand icon points to the 'Urban Poverty and the Family Context of Delinquency: A New Look at Structure and Process in a Classic Study' title. Below the title, there are links for 'Download PDF', 'Get PDF (370K)', 'PDF (544 K)', and 'Full Text (PDF)'.

上記のようなリンクを探しましょう。クリックすると、本文が開きます。

Urban Poverty and the Family Context of Delinquency: A New Look at Structure and Process in a Classic Study

Robert J. Sampson
University of Chicago
John H. Laub
Northwestern University and Henry A. Murray Research Center

Sampson, Robert J., and Laub, John H. *Urban Poverty and the Family Context of Delinquency: A New Look at Structure and Process in a Classic Study*. *Child Development*, 1994, 65, 323-343. This paper reanalyzes data from the Chicago classic study of 500 delinquents and 500 nondelinquents reared in low-income neighborhoods of central Boston. Based on a general theory of informal social control, we propose a 3-step hypothesis that links structure and process: family poverty inhibits family processes of informal social control, in turn increasing the likelihood of juvenile delinquency. The results support the theory by showing that (1) maternal, paternal, and family discipline; (2) low supervision; and (3) weak parent-child attachment mediate the effects of poverty and other structural factors on delinquency. We also address the potential confounding role of parental and childhood depression. Although difficult children who display early antisocial tendencies do disrupt family management, as do antisocial and unstable parents, mediating processes of informal social control still explain a large share of variance in adolescent delinquency. Overall, the results underscore the indirect effects of structural context like family poverty on adolescent delinquency within disadvantaged populations. We raise implications for current debates on race, crime, and the "underclass" in urban America.

In 1950, Sheldon and Eleanor Glueck published their now classic study, *Character and Delinquency*. In one of the most frequently cited works in the history of delinquency research, the Gluecks sought to answer a basic and enduring question:—

フルテキストがPDF形式で開きます。

他の検索語を使って再検索してみる

- 「気になる子ども」の、他のキーワードは？
- children with developmental disorders 発達障害の子ども
 - children with developmental disabilities 発達障害の子ども
 - children with special needs 特別のニーズを持った子ども など

英語類義語辞典などを活用しましょう。

適切な検索語を選んで、検索漏れを防ぎましょう！

ロゴをクリックすると最初の画面に戻ります。



電子ジャーナルが閲覧できなかった場合

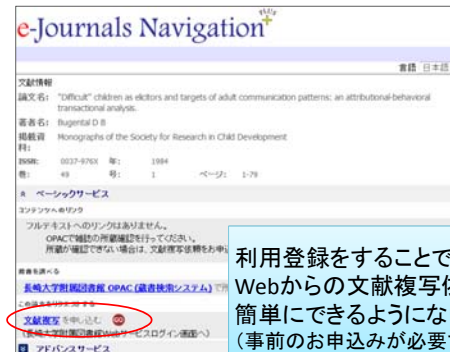


クリックすると、OPACを自動検索します。

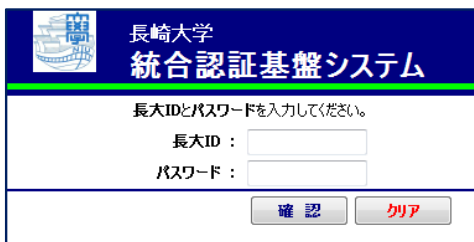


該当号の所蔵なし。学内での入手は不可。

該当論文のコピーを他大学に依頼できます
費用(約1枚40円+送料)は自己負担です



パソコンにログインする時のID・パスワードと同じです。





ILL(文献複写・図書貸借)の表示があれば、利用登録済みです。



4. その他のサイト・データベース


<文献検索>

- ◆ **ERIC(エリック)**  データベースリンク集からアクセス
→ アメリカ教育省が提供する教育関係論文データベース。教育に関する120万項目を超える書誌事項(引用情報、抄録等)を収録。
- ◆ **メディカルオンライン**  データベースリンク集からアクセス
→ 国内で発行されている医歯薬学関連の雑誌の電子ジャーナルWebサイト。衛生・保健分野も収録。

<文献検索>

- ◆ **NAOSITE** <http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/>
→ 長崎大学に所属する教職員等の研究成果を収集し、公開している電子コレクション。
(長崎大学機関リポジトリ)
- ◆ **九州地区国立大学教育系・文系リポジトリ**
<https://nuk.repo.nii.ac.jp/>
→ 九州内の国立大学の研究者から推薦・投稿された教育系・文系の論文を対象に、各大学が協力して査読と編集を行い、電子的に刊行されたものを収録。(平成24年以前のもは各大学のリポジトリにも登録されています。)
- ◆ **JAIRO(ジャイロ)** <http://jairo.nii.ac.jp/>
→ 日本の学術機関リポジトリを横断的に検索できるポータルサービス。


<ネットで使える百科事典と辞書>

- ◆ **JapanKnowledge Lib(ジャパンナレッジ リブ)**  データベースリンク集からアクセス
【同時アクセス2】
→ 百科事典のほか専門辞書、叢書、雑誌など50種類以上のコンテンツを搭載。横断検索が可能。
※収録コンテンツ・・・日本大百科全書・現代用語の基礎知識・日本歴史地名大系・会社四季報 ほか

<学術文献専門の検索エンジン>

- ◆ **Google Scholar(グーグル・スカラー)** <http://scholar.google.co.jp/>
→ 学術資料の検索に特化したGoogle社の検索エンジン。
学術専門誌、論文、書籍、要約、記事などが検索対象となる。

今日、ご紹介したデータベースの一部は、
学外からも利用が可能です。

学外から利用する
こちらからログインしてください 



このアイコンをクリックすると、
ログインページが開きます。
長大IDでログインすると、学内と同じ環境
で利用できます。

リモートアクセスログイン画面

学外から電子リソースを利用する(リモートアクセスサービス)
Using e-resources from off-campus (Remote Access Service)

ログイン / LOGIN

学外から電子リソースを利用する場合は、下記ログインIDとパスワードを入力し、Loginボタンをクリックしてください。
なお、学外からの利用は、本学に在籍中の学館生・大学院生・教職員に限ります。
For using e-resources from off-campus, please enter your ID and password into a box and click Login button.
This service is limited to students and faculty and staff members of the Nagasaki University.

LOGIN ID (学館生ID)

パスワード

利用方法および注意事項 / Usage and Instructions

- 長大IDは、学外のリソースサービスで利用するIDです。長大IDとは下記URLから入手してください。*学外からのアクセスは、学外からのアクセスに限り有効です。*
- ログインIDは、学外からのアクセスに限り有効です。長大IDとは下記URLから入手してください。*
- ログインIDは、学外からのアクセスに限り有効です。長大IDとは下記URLから入手してください。*
- ログインIDは、学外からのアクセスに限り有効です。長大IDとは下記URLから入手してください。*
- ログインIDは、学外からのアクセスに限り有効です。長大IDとは下記URLから入手してください。*
- ログインIDは、学外からのアクセスに限り有効です。長大IDとは下記URLから入手してください。*
- ログインIDは、学外からのアクセスに限り有効です。長大IDとは下記URLから入手してください。*
- ログインIDは、学外からのアクセスに限り有効です。長大IDとは下記URLから入手してください。*

リモートアクセスに関するお問い合わせ先は saraku@nagasaki-u.ac.jp までお問い合わせください。
The inquiry about Remote Access Service : saraku@nagasaki-u.ac.jp

NU Searchで一括検索する

図書や雑誌記事、デジタル資料などの情報を一括検索できるポータルサイトです。
(オンラインの情報も検索対象) 検索可能なコンテンツを確認のうえ、活用してください。



Powered by Ex Libris Primo | Copyright © 2009-2013 | 図書館自動検索

その他のツールで調べる

信頼できるサイトであれば、インターネットの情報も有効です。



国や関係機関のホームページ、刊行資料なども参考になります。

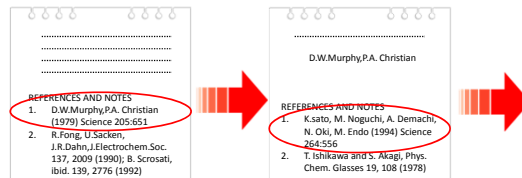
例えば・・・

◆総務省統計局ホームページ
<http://www.stat.go.jp/index.htm>

◆E-Gov(イーガフ): 行政情報ポータルサイト
<http://www.e-gov.go.jp/>

79

5. 参考文献から論文を探す



参考文献を辿っていくことで、連鎖的に文献を探すことができます

参考文献が図書か雑誌かにより、資料の探し方が異なりますので、正しい見極め方を覚えてください。

●和図書の場合

著者名(出版年)「論題名又は章題名」『書名』編者名
出版者 掲載ページ

例)飯沼賢司(2010)「環境歴史学の可能性」『環境と歴史学』
水島司編 勉誠出版 64-73

●洋図書の場合

著者名(出版年) 論題名または章題名 編者名 書名
出版地 出版者 掲載ページ

例)Phillips SJ. (1995) Hypertension and stroke. In Laragh JH, editors. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management, 2nd ed. New York : Raven Press. p.465-78.

→ 図書の場合は、必ず出版者の記述があります。

●和雑誌の場合

著者名(掲載年)「論文タイトル」『雑誌名』巻数(号数): 掲載ページ

例)時実家一(2008)「電子ジャーナルの長期保存」『情報の科学と技術』58(2):84-88

●洋雑誌の場合

著者名(掲載年) 論文タイトル 雑誌名 巻数(号数): 掲載ページ

例)Vega KJ, Pina I, Krevsky B. (1996) Heart transplantation is associated with an increased risk for creatobiliary disease. *Ann Intern Med*, 124(11):980-3

→ 雑誌の場合は、必ず巻号の記述があります。

●電子ジャーナルの場合

論文著者名(掲載年)「論文タイトル」『雑誌名』巻数(号数): 掲載ページ <入手先> (参照日付)

例)久保百司ほか(2010)「色素増感型太陽電池デバイスの量子論に基づくマルチスケールシミュレータの開発と応用」『日本化学会情報化学部会誌』27(5):119

<<http://www.jstage.jst.go.jp/article/cicsj/27/5/119/pdf-char/ja/>> (参照 2013-10-01)

電子ジャーナルに限らず、Web上の情報の場合は、サイトのアドレスとサイトを閲覧した日付(アクセス日)が記載されています。

→ Web上の情報は変更されることが多いからです。

6. 引用と著作権について

引用とは、自分の論旨を説明・証明するために、他人の文章や事例を引くことです。

引用の要件(著作権法第32条及び第48条が適用)

- ① 引用の必然性があること
- ② 自分の文章が主で、引用が従であること
<目安としては、自分の文章の10分の1以下>
- ③ 他人の文章を括弧でくくるなどして、自分の文章と区別すること
- ④ 出所(引用元)を明示すること

引用元を明らかにせずに、いわゆるコピーで論文を作成することは、**剽窃(ひょうせつ)**という犯罪行為です。

なぜ、他人の文章をまるごとコピーして、あたかも自分が書いた文章のようにして、論文を書いてはいけないのか？



全ての著作物は
著作権法で保護されているから

<参考文献>

1. 高崎みどり編著『大学生のための「論文」執筆の手引：卒論・レポート・演習発表の乗り切り方』秀和システム, 2010年
2. 吉田健正著『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』ナカニシヤ出版, 2004年
3. 藤田節子著『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』日外アソシエーツ, 2009年

文献の検索で分からないことがあれば、
参考調査カウンターでお尋ねください！